



警備員さんの 利益を追求する。

警備員さんの**自己の利益を生み出す**ために、夢や生きがいを尊重し応援し続ける。
ストレスや不自由なく、「今が幸せ」と言える警備員さんを増やしていく。

+ 利益の追求

利益の追求とは、会社の利益と自己の利益を結びつけて考え、行動すること。そうすれば自分が幸せになり、自分が幸せになることで、誇りが生まれる。そんな自分の幸せや利益を追求してもらうための舞台を提供し続けるのが使命。警備員さんの不利益になることは絶対に行わない。

警備員さんを、HEROに。

警備員さんが、自分の仕事に誇りを持って、世の中から認められ、求められる。
正義と信念を大切にして、そんな世界をつくっていく。

+ HEROになる ためには

災害時などの緊急対応、工事やイベントの円滑な進行や運営の手助けなどにおいて、ただ「そこにいる」だけでなく、正義と信念をもって行動する警備員さんこそが、地域社会の「HERO」になれる。

HEROの判断基準となる方程式

社会的に正しい行動や思考を「正義」、礼儀や義理などにあたるものを「信念」として表現している。

正義

- ◆ 安全を確保できているか
- ◆ 現場の規則を守れているか
- ◆ 現場のマナーを守れているか
- ◆ 責任をもっているか
- ◆ 模範となれているか
- ◆ 臨機応変に対応できているか
- ◆ 自分を大事にできているか

信念

- ◆ 自分と仲間は無事に家に帰れているか
- ◆ 心がこもった対応ができているか
- ◆ 相手から感謝されているか
- ◆ 安心を提供できているか
- ◆ 前向きに取り組んでいるか
- ◆ 仲間の手助けはできているか
- ◆ 最後までやりきれているか

×

=

HERO

「さん」付けで呼ばれる仕事を。

+ 「さん」付けで 呼ばれる仕事とは？

お客様、地域社会、協力会社、仲間から「さん」付けで呼ばれる仕事をする。それは、目の前の当たり前のことを当たり前以上に行う「**サービス業としての警備業**」を提供し続けることで実現する。

サービス業 としての警備業 10の心得

- 1 自分から挨拶をする
- 2 清潔感ある身だしなみを整える
- 3 時間やルールを守る
- 4 思いやりを持ち感謝を伝える
- 5 相手を敬う言葉使いができる
- 6 自分の意見を持ち返事ができる
- 7 言い訳をせず正しい報連相をする
- 8 困ったら相談をする
- 9 仲間をフォローする
- 10 常に改善ができる